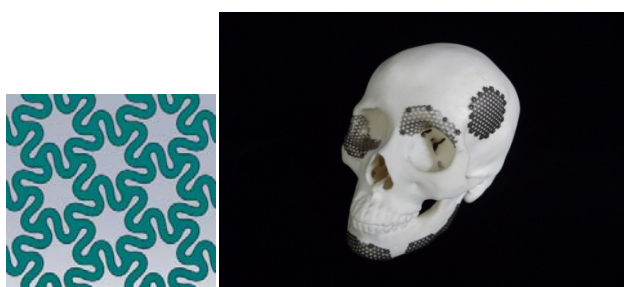


プレスリリース

報道関係者各位

㈱ネクスト21は3次元展開可能な骨再建用チタンメッシュプレートの承認を取得しました。

東京大学病院顎口腔外科(高戸毅教授)、工学院大学機械工学科(何健梅准教授)と株式会社ネクスト21(鈴木茂樹社長)は、産学連携の研究成果である画期的なメッシュパターンをもった骨再建用のチタンメッシュプレートの実用化に成功し、厚生労働省より医療機器としての製造販売承認を10月9日に取得しました。



世界で初めての画期的なメッシュパターンが考案されました。このメッシュプレートは3次元への形状展開性が高いため、人体の色々な骨の形状が作製可能です。

また構造的に弾性域が広く、応力集中が少ないため、人体への移植後も破断の可能性が少なく安全な設計です。材質が純チタンでありながら、その機械特性を人体の皮質骨(骨表面部)の物性に近づけて設計されているので固定後の骨への密着性が高い事も特長です。

また、手術前に患者さま自身のCT X線データより、3Dプリンターで作成した骨モデルに合わせて、このメッシュプレートをカスタムメイドで成形加工することにより、患者さま個人の骨欠損する以前の外観、風貌を取り戻すことができます。

この事業は独立法人医薬基盤研究所研究振興部からの助成を受けて2年6ヶ月をかけて研究開発を行いました。今後は、㈱ネクスト21で製造を行い、全国の医療機関へは脳外科、整形外科領域で瑞穂医科工業㈱から、口腔外科、歯科領域でオカダ医材㈱を通じて供給されます。

本件についてのお問い合わせ先

株式会社 ネクスト21 鈴木 茂樹

〒113-0033 東京都文京区本郷3-38-1 本郷イシワタビル8F

TEL:03-5840-8830 FAX:03-5840-8831

E-mail:suzuki@next21.info

HomePage: <http://www.next21.info>